

令和6年度 技術・家庭(家庭分野)年間指導計画 第1学年

月	題材名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	A 家族・家庭生活 C 消費生活・環境 ・家庭分野ガイダンス(1) ・自分の成長と家族・家庭生活、持続可能な社会(1)	○自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解しているとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。		
5～7月	B 衣食住の生活 ・食事の役割と食習慣(2) ・中学生に必要な栄養を満たす食事(4)	○生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康により食習慣について理解している。	○自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
		○栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 ○中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	○中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	B 衣食住の生活 ・肉の調理(5) ※食品の選択と保存を扱う	○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ○材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	○日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	B 衣食住の生活 ・生活の課題と実践「家族に食事をつくらう」(1)		○中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ○食生活から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善	○家族と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭で実践しようとしている。

			し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
9月～11月	B 衣食住の生活 ・生活を豊かにするものの製作(10)	○製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
12月～3月	B 衣食住の生活 ・目的に応じた衣服の選択(6) ※和服を扱う ・日常着の手入れと保管(4) ・持続可能な衣生活(1)	○衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ○衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	○衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	B 衣食住の生活 ・生活の課題と実践「家庭で洗濯に挑戦しよう」(課外)		○衣生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、衣生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭で実践しようとしている。

令和6年度 技術・家庭(家庭分野)年間指導計画 第2学年

月	題材名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月～7月	B 衣食住の生活 ・目的に応じた衣服の選択(6) ※和服を扱う ・日常着の手入れと保管(4) ・持続可能な衣生活(1)	○衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ○衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	○衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	B 衣食住の生活 ・生活の課題と実践「家庭で洗濯に挑戦しよう」(課外)		○衣生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、衣生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭で実践しようとしている。
	B 衣食住の生活 ・生活を豊かにするものの製作(6)	○製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
9～11月	B 衣食住の生活 ・住まいのはたらきとここちよさ(4) ・安全な住まい(3)※高齢者を扱う	○家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ○家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	○家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
12～3月	C 消費生活・環境、B 衣食住の生活 ・家庭生活と消費(3) ・購入・支払いと生活情報(4) ・消費者被害と消費者の自立(1) ・持続可能な社会(2)	○購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ○売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し	○物資・サービスの購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現す	○よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善

		<p>ているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p> <p>○消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。</p>	<p>るなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
3月	<p>A 家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族・家庭生活(1) ・生活の課題と実践「一日家事体験」(課外) 		<p>○家族・家庭生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>○家族と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭で実践しようとしている。</p>

令和6年度 技術・家庭(家庭分野)年間指導計画 第3学年

月	題材名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4～7月	C 消費生活・環境、B 衣食住の生活 ・購入・支払いと生活情報(4) ・消費者被害と消費者の自立(2)	○購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ○売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ○消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	○物資・サービスの購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
9月～11月	A 家族・家庭生活 ・幼児の生活と家族(5)	○幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。	○幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	A 家族・家庭生活 ・幼児とのかかわり(3.5)	○幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。	○幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
11～2月	A 家族・家庭生活 ・家庭生活と地域のかかわり(2)	○家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	○高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
3月	B 衣食住の生活 ・蒸す調理「幼児がよるこぶおやつづくり」(1)	○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。		

		○材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基本的な日常食の調理が適切にできる。		
--	--	---	--	--